

第31回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会
兼 第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・栃木県予選
大会要項

1. 名称 第31回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会
兼 第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・栃木県予選
2. 主催 (公社)栃木県サッカー協会
3. 主管 栃木県クラブユースサッカー連盟
4. 後援 栃木県教育委員会 栃木県スポーツ協会 栃木県クラブユースサッカー連盟
5. 期日 2024年4月19日(土) ~ 2024年5月18日(日)
4月19日(土) 1回戦(サンエコ)()()()
4月26日(土) 2回戦()()()()
4月29日(火) 3回戦(青木C)()()()
5月 6日(火) 準々決勝(青木C)(丸山)
5月10日(土) 準決勝(佐野第一多目的)
5月17日(土) 決勝・3決(栃木県グリーンスタジアム)
6. 会場 グリーンスタジアムサブグラウンド(グリサブ)、青木フィールド(青木)
とちぎフットボールセンター(TFC)、ウイングス大谷フィールド(大谷F)他
7. 出場チーム 栃木県クラブユースサッカー連盟 加盟チーム
8. 出場資格
 - 1 公益財団法人日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なお且つ2025年度一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟、関東クラブユースサッカー連盟、栃木県クラブユースサッカー連盟に加盟登録したチームであること。
 - 2 出場選手は、中学校サッカー部及び他のクラブチームに二重登録されていないこと。
 - 3 平成21年(2010年)4月2日以降の出生者を対象とする。
 - 4 出場チームの同一下部組織第4種(公益財団法人日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、種別変更(移籍)せず第4種登録所有のまま出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの1チームからに限定するものとする。
 - 5 2025年4月11日(金)までに、本大会選手登録用紙を提出したチーム・選手であること。
 - 6 選手は、公益財団法人日本サッカー協会の写真付き選手証を所持していること。(選手証の不携帯もしくは写真を掲載していない場合は出場を認めない。)但し、電子登録証(写真が登録されたもの)で確認でき、提示した場合出場を認めるものとする。
9. 表彰 優勝から第3位までトロフィー及びメダルを授与し、かつ優勝から第3位まで賞状を授与する。
10. その他 優勝・準優勝・3位の上位3チームに、第31回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会兼第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・関東予選の出場権を与える。また4位5位6位7位のチームにディビジョン2の出場権を与える。順位はベスト8で優勝したチームと対戦したチームが5位、準優勝→6位、3位→7位とする。

第31回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会
兼 第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・栃木県予選
競技規則

◆競技方法

01. チームのトーナメント方式

1部リーグ4チームにシードを与える。(大会参加チーム数によりシードはこの限りではない。)

リーグ戦前期の結果か前年度のリーグ戦結果でトーナメント表を決める。

1部 昇格チーム同順位は抽選とする。

2部 フリー抽選とする

3部 フリー抽選とする。

3種リーグ前期に参加していないチームのフリー抽選。

02. ルールは、(財)日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2024/2025サッカー競技規則」に準ずる。

03. 試合時間は70分とし(インターバルは10分)、競技時間内に勝敗の決まらない場合、PK戦により勝敗を決定し、準決勝以降は、5分間の休憩後20分間の延長戦を行い、なお決まらない場合はPK戦により勝敗を決定する。

04. 警告・退場

大会期間中警告を2回受けたものは、次の1試合に出場できない。又、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。その後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。なお、警告は、第31回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会兼第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・関東予選には持ち越さないが退場は持ち越すものとする。但し、関東予選までの間に、県内で公式試合がある場合はその大会で消化できる。

※本大会前に開催される、栃木県ユースサッカーリーグU-15における警告は本大会に持ち越さないが、退場は持ち越すものとする。

05. 選手登録用紙は試合開始30分前に、先発11名に“○”を付けて本部に2部提出する。選手証は試合前の整列時に選手各自が持参し、用具とともに確認を受けること。選手証に写真がない場合、選手証の不携帯若しくは選手証に写真を掲載していない場合は出場できない。登録は交代選手を含め30名までとし、うち5名までの交代を認める。なお、登録後から試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが当該試合へ出場することが不可能であると当該会場の競技責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更することができる。

※第4種年代選手の登録は5名迄とし、同時に2名までの出場を認める。

※外国籍選手の登録は5名迄とし、同時に3名までの出場を認める。

06. 交代の手続きはサッカー競技規則第3条に則って行う。

(交代のすべての機会に交代用紙を使用する。※交代用紙は出場チームで準備するものとする。)

選手交代回数の制限について

1 選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)

2 前半、ハーフタイムでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。

③ 延長戦に入った際、後半に3回選手交代を行った場合でも、選手交代を行うことができる。(交代枠が残されている場合に限る)

脳震盪の疑いによる交代

・1試合において、各チーム最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。

・相手チームが「脳震盪による交代」を使用した場合は、自チームは追加で1名を交代させることができる。(この場合の交代理由は脳震盪であるか否かを問わない)

・「脳震盪による交代」は、「通常の」交代の回数の制限とは別に取り扱われる。

・チームが「脳震盪による交代」を「通常の」交代に合わせて行った場合、1回の「通常の」交代としてカウントされる。

07. 本大会ではテクニカルエリアを採用する。その都度ただ1名の役員のみがテクニカルエリアから戦術的指示を伝えることが出来る。大会期間中、退席を命じられた役員は、次の1試合のベンチ入りを停止する。違反の内容によっては、それ後の処置について、本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。

08. ユニホームについては以下のとおりとする。
- 1) ユニホームの色・選手番号について、本大会選手登録用紙を提出後の変更は認めない(GKも同様)。また、通常審判員が着用する黒色のシャツと色が類似するシャツの使用は認めない。
 - 2) ユニホームに表示する広告は、日本サッカー協会『ユニホーム規程』に則る。
 - 3) ユニホーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正・副の両方を用意すること。GKも同様とする。
 - 4) 正・副のユニホームの、シャツ前面・後面には番号を付けなければならない。なお、ショーツに番号がついている場合は、ユニホームと一致させること。アンダーウェアについてはショーツと同色のものを使用すること
09. 参加料・監督会議については以下のとおりとする。
- 1) 参加料は、22,000円とし、2025年4月10日(木)までに指定の口座へ振り込みこととする。
また、準決勝(ベスト4)へ進出したチームは、さらに2025年5月8日(木)までに10,000円を指定の口座へ振り込むこととする。
※参加費振込先: 足利銀行 一条支店 普通 3255733 社団法人 栃木県サッカー協会(一般)
 - 2) 監督会議は、2025年4月12日(土)19時~栃木県サッカー協会で行う。
10. 大会実施委員会内に規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は大会実施委員長が兼任する。規律・フェアプレー委員の人選については委員長に一任する。
11. 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会にて決定する。
12. 試合会場では大会役員の指示に従い、サッカー関係者としてのマナーを十分心がける。
13. 試合開始30分前に、マネージャーズミーティングを開催し、両チームのユニホームのチェック、要項・諸注意事項等の説明を行う。※マネージャーズミーティングには、必ずユニホームの正・副の写真を用意すること。準決勝からは試合開始70分前にマネージャーズミーティングを行う。
14. 大会試合球は、各チーム持ち寄りとする。※程度の良いボールを用意すること。
15. 気温の上昇により飲水タイムを設ける。
16. 雷等の天候で試合が中断した場合、その試合が後半25分を経過し中断となり再開不能となった場合は、その時点での結果をもって試合は成立したものとみなす。(同点の場合は抽選とする)それ以前に中断し再開不能な場合は、改めて残りの時間について試合を行うものとするが、諸事情で残り時間の試合が不可能な場合は抽選で決定する。なお、残り時間の試合を行う場合のメンバーは、中断時の選手とする。
17. 試合開始時刻に試合を開始できないチームは、不戦敗(0-5)とする。
18. 不測の事態により、試合開始時間に到着すること、または、参加が困難な場合には大会実施委員長に試合開始30分前までに連絡すること。連絡がない場合は前項を適用する。
19. 帯同審判員は、必ず審判員証を携帯すること。
20. 暑熱対策
WBGT31℃以上の場合は、試合を行わず、抽選とする。
試合開始後WBGT31℃を越えた場合は、JFAの熱中症対策〈A〉・〈B〉を確実に行った場合に限り試合続行を認める。

大会実施委員長 糸井 悦夫
大会実施副委員長 石田 浩之
大会実施事務局 unionSC 田中鴻成